

2006年9月1日発行

第77号



# 友の会ニュース

発行所  
 神奈川県東部建設協同組合  
 〒216-0011川崎市宮前区犬蔵1-4-14  
 TEL044-976-1151  
 FAX044-976-0557  
 フリーダイヤル0120-633-306  
 定価10円  
 発行人 白田武美  
 編集人 伊藤実

## 日本の住宅はどこへ行く？

### カジ取りは工務店が

「住宅展示場を見ても納得ゆくものが見当たらなかった」という経験のある人は少なくないだろう。まるで自動車のように住宅の性能を科学化し、性能表示、数値化で差別化しようとするハウスメーカーの住宅には体温や文化を感じられないと考える本物志向のユーザーが増えている。

しかし、一方では、住む者の健康や、快適さを考えず、地域環境にも配慮のない「早く・安い家」を求めるユーザーが相変わらず多く、それが住宅市場を活性化しているのも事実である。

少子高齢化、消費税の大幅アップ、金利アップ、住宅金融公庫廃止とノンバンク登場による顧客獲得競争の激化、職人

の大幅減少、原油高騰による資材・運賃高騰等々の激動の中で日本の住宅建設はどこへ行くのか、日本民族を豊かにする住まいづくりか、それともその反対か。そのカジをとるのは工務店である。

本物も二セ物もわからないまま、住宅の本当の目的・価値・怖さを知らないまま、価格競争、宣伝・営業・サービス競争に巻き込まれ情報の渦の中でおぼれているユーザー。プロである我々が手をさしのべなければならぬ。

本物の家は住まい手を幸せにするものである。本物の日本の家を作るのは地域の自然環境を理解し、地域の情報を知っている地元工務店である。賢い建築主とともに本物の家を共創し、長く家を守り、地域を守っていくことができるのはホームドクター機能を持つ地元工務店ではないのだ。

資料(日本住宅新聞第一三三三号)

### ◎T邸公開住宅

等覚院の裏山に隣接する場所に建設していただきましたRC木造組合わせ住宅がいよいよ完成のはこびとなりました。今回、施主様のご好意によりこの建物を公開住宅として皆様にご覧頂ける事となりました。土地の有効的な活用の様子や、自然素材を多く使い、住む



人の健康に配慮し、自然エネルギーを取り入れた環境にもやさしい住宅です。

十月 十四日(土) 午前十時～午後四時迄  
 十五日(土)

公開いたしますので、ご覧下さい。併せて住まいのご相談会も行います。

### ◎S邸着工

東京都国分寺に地下一階地上二階建の木造住宅建設に着手しました。完成は十九年三月を予定しています。

### ◎M邸マンション改築工事

マンション大規模改築工事を着工しました。引渡しは十月予定です。工事期間中は当組合の仮住まい住宅を活用いただいております。

### ◎K邸着工

川崎市宮前区菅生に斬新なデザインの木造住宅建設に、近く着工いたします。完成は本年十二月の予定です。完成後は公開住宅していただけるとのこと。



(K邸地鎮祭の様子)